

高度医療人材養成拠点形成事業（高度な臨床・研究能力を有する医師養成）
タイプA 取組の概要と推進委員会からの主なコメント

代 表 校 名 (連携大学 名)	広島大学
事 業 名	平和科学を基盤とする臨床基礎融合を目指した人材養成イニシアチブ ～ SPARK! Plan for MED ～
事 業 責 任 者	広島大学理事・副学長（霞地区・教員人事・広報担当） 田中 純子
事 業 の 概 要	
本学は、学長のリーダーシップのもとで、新しい平和科学（安全・安心を実現する「創る平和」）を創成する。本学の強みである放射線医学、再生医療、がん等の診療分野とワクチン・医薬品開発において人材育成を強化し、中国四国地方におけるトップレベルの研究実績を基盤とした基礎と臨床の連携により臨床研究を地球規模でけん引する。本事業はトランスレーショナル教育研究センターが司令塔となり、①高度な臨床・研究能力を有する医師を養成する支援プログラム（SPARK! Plan for MED） ②国内大学唯一の GMP 設備を有する GMP 教育研究プログラム ③大学敷地内に移転する放射線影響研究所と連携した世界随一の共同臨床研究拠点を、を主軸に展開する。医師の働き方改革の中でも、支援者活用による教育研究時間を確保する施策と体制を整備し、人材育成と国際的な教育研究拠点として医学・高度医療の持続的な発展と研究力の強化に貢献。	
推進委員会からの主なコメント ○：優れた点等、●：改善を要する点等	
○放射線医学、再生医療、がん医療に関する独創性のある研究を実施しており、それらの研究を高い水準で継続するために必要な若手研究者を育成しようとしている。 ○トランスレーショナル教育研究センター（TraERC）を立ち上げて、コンプライアンス意識の高い医師を養成する GMP 教育研究プログラムや MD-PhD 入試枠に加え、基礎研究入門コースを設置して SA として雇用したり、研究マインドの高い上級生を対象にしたアドバンスト研究コースを設置して SA・TA として採用する等、多様な教育プログラムを構築する計画になっていることは評価できる。 ○生物統計家をはじめとした、教育研究支援者及び医学部生、大学院生 (SA、TA、RA) 自らを事業の中心に置き、教員の教育研究活動に支援者・補助者として参画する取組は、診療に従事する教員の教育研究時間の確保と良質な医療の提供に資することが期待できる。 ○2022 年に立ち上げた「インドネシアチャプター」のネットワークを活用した医療技術向上及び医療人材養成に係る取組等モデルケースの海外への導出や技術協力等により得る利益を元手に拠点の自立化を図っており、事業の継続が期待できる。 ●イベントが中心メンバーのカレンダーとなっているため、全学的なものを示すことが望ましい。	